



新たな歩みの始まり

歴史と伝統を受け継ぎ

鶴田町内6つの小学校を統合した新生・鶴田小学校（中村隆人校長）校舎が完成し、4月5日（日）、同校の多目的ホールで開校式が行われました。

式は当初、全校児童が出席する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症防止のため規模を縮小し開催されました。学校関係者ら約50人が出席し、新たな門出を祝いました。

式では、中野雄臣教育長による開校宣言の後、開校にあたって相川正光町長が「これまで6つの小学校で培われてきた歴史と伝統は、新生・鶴田小学校に受け継がれ、新たな歴史を刻み、さらなる飛躍と発展を成し遂げていくものと期待しています。学校と家庭、地域が一体となり、理想の鶴田小学校が形成されることを願います」と式辞を述べました。

その後、相川町長から中村校長に校旗の授与が行われ、中村校長は「目の前の子どもたち一人ひとりにしっかりと向き合い、子どもたちの良さを十分に活かしながら、543人の町の財産である子どもたちを立派に育て上げていきたい」とあいさつしました。最後に関係者と旧小学校の児童代表6名によるテープカットが行われ、新小学校開校を祝いました。

新生・鶴田小学校は西北五管内では最大規模を誇り、全校児童数は543人、教職員数52人、普通教室18室、特別支援教室6室、特別教室11室のほか、多目的ホールや統合記念ホール等を設け、町ただ一つの小学校となりました。

旧鶴田小学校の敷地内に建設された新校舎は、鉄筋コンクリート3階建てで延べ床面積は7537平方メートル。校舎の必要所に吹き抜け式を導入することで、自然光を多く取り入れる造りになっており、ガラスを多用することで、明るく開放的で透明感のあるデザインとなっています。

また、屋内運動場およびグラウンドは今年度完成に向け、現在建設中です。



△新生・鶴田小学校の校章



△出席者によるテープカット



△相川町長から中村校長へ校旗を授与

新生「鶴田小学校」校舎完成



◆施設概要

- 施設名称 鶴田町立鶴田小学校
- 所在地 青森県北津軽郡鶴田町大字鶴田字鷹ノ尾11-2
- 構造 鉄筋コンクリート造 3階建て
- 建築面積 3,014.78㎡
- 床面積 延べ床面積 7,536.71㎡
(1階 2,783.67㎡、2階 2,724.57㎡、3階 2,009.87㎡、PH階 18.60㎡)
- 主要設置室
 - ・普通教室 18室
 - ・特別支援教室 6室
 - ・特別教室 11室
 - 【理科教室、家庭科教室、図画工作室、コンピュータ教室、音楽教室 2室、図書室、視聴覚室、特別活動教室（児童会室）、教育相談室 2室】
 - ・多目的教室
 - 【多目的スペース6箇所、統合記念ホール（ランチルーム）1室、個別指導室3室】
- その他の設備 地中熱冷暖房設備、冷暖房設備、非常用発電機設備、エレベーター等

◆施設特徴

デザイン	ガラスを多用した明るく開放的で透明感のあるデザインで、校舎の一部は吹き抜け式で自然光を多く取り入れる造り。
機能性	小学校として平時において円滑に機能することはもちろんのこと、災害時における公共施設の役割を考え、建物自体が大地震や水害等に対してより安全であり、地域住民の避難拠点として機能する。
経済性	自然採光、地中熱その他の自然エネルギーを積極的に取り入れることで、エネルギー消費の低減が図られる。
安全快適性	夏季の暑さや冬季の季節風、凍害、積雪、落雪等を十分考慮しつつ、積極的に自然エネルギーを建物内部に取り入れ、快適な環境作りを行う。また、地震や火災、強風など、防災対策を十分考慮している。

学校案内図



△家庭科教室
IHクッキングヒーターを導入。



△図書室
約1万冊の蔵書がある。



△ランチルーム
約230人が一度に食事ができる。



△エレベーター



◁普通教室
廊下側を透明なガラスにすることで開放感がある教室になっている。

新生・鶴田小



△音楽室
明るく完全防音な教室。



△コンピューター教室
プログラミング授業に対応するために最新のPCを導入。



△談話コーナー
休み時間に友だちと触れ合ったり、くつろげる場所。



△図画工作教室

※アリーナ（体育施設）および学童保育施設については、現在建設中。

